

令和5年度事業報告書 (令和5年4月31日～令和6年3月31日)

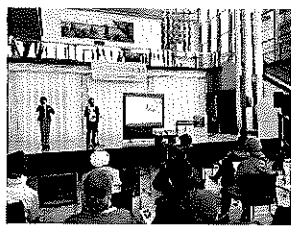
1 NPOに関する広報活動とともに会員の募集

ホームページのお知らせのページで日々の活動を紹介。

HHA ニュースレタ4回発行、「暮らしの保健室だより」を毎月発行。

8月より秋田ケーブルテレビ正午から生放送の「し～なチャン」に毎月第3火曜日に定期出演して、保健室のイベント告知や訪問看護ステーションの活動をPR。

令和6年3月16日に拠点センターアルヴェで開催された秋田市主催の「市民協働フェスタ2024」に出展。団体PRブースやステージ発表で広報を行った。



2 共暮らしの住まい事業(ホームホスピスくらの家手形山・土崎港の運営)

令和6年3月末現在、入居者手形山7名、土崎港6名(延入居者52名、看取り22名)

新型コロナが5類に移行後は、家族面会、外出の緩和し、コロナ前の日常に戻りつつも、日々の感染状況を見ながらの対応となった。ボランティアの受け入れなどもあり、日々の感染症対策をしながら、季節行事や誕生会などを実施した。

看取り時も含め感染対策を実施しながら継続し、今期は3名の看取りがあった。

ホームページのお知らせのページで日々のくらの家での暮らしやイベントなどを発信することが出来た。



3 訪問介護事業所の継続

平成30年9月～「訪問介護事業所」をスタートし、くらの家手形、くらの家土崎でケアサービスを提供。平成31年1月からは秋田市の認定を受け、障害福祉サービス事業の中の「居宅介護支援」と「重度訪問介護事業」を展開している。今後もケアニーズの高い方々の支援に当たる。

4 訪問看護ステーションの継続

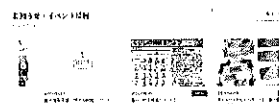
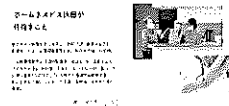
現在、常勤看護師5名、常勤作業療法士1名、非常勤看護師1名で稼働中。くらの家の入居者ほか、訪問看護ステーションが自ら開拓、紹介を受けた外部利用者25名を獲得。がん看護専門看護師、助産師、作業療法士がそれぞれの専門性を活かし、産前・産後のケアから高齢者まで幅広く訪問を行い、今後も引き続き事業展開し、収益アップを図る。

【内容・実績】

	介護(人/件数)	医療(人/件数)	合計(人/件数)
4月	23/126	6/52	29/178
5月	24/167	6/72	30/239
6月	24/156	7/70	31/226
7月	24/159	7/66	31/225
8月	24/193	7/94	31/287
9月	24/160	7/70	31/230
10月	23/184	9/79	32/263
11月	23/145	8/71	31/216
12月	25/170	9/78	34/248
1月	25/131	9/100	34/231
2月	24/174	10/103	34/277
3月	24/192	12/124	36/316
合計	287/1957	97/979	384/2936

5 地域包括ケア・ホームホスピス在宅看取りに関する住民啓発活動

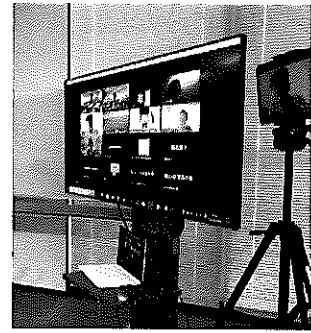
ホームページにて活動報告等で広報を行った。秋田県スギッチファンドがん対策支援ファンドに採択され「暮らしの保健室がんサロン特別版」を開催。秋田市主催の「市民協働フェスタ2024」に出展し、ステージ発表で広報を行った。



6 ホームホスピス協会東日本支部会員としての活動

4月東日本支部の会議に参加。9月9日東日本支部研修「ホームホスピスにおけるBCP作成のポイント」を秋田市拠点センターアルヴェで開催。会場、オンラインのハイブリット形式で開催。会場参加9名、オンライン参加14名 計23名参加。ホームホスピス実践者育成塾(7月1日～2日)に2名参加(神戸)。ホームホスピス全国大会 in 福岡(12月2日～3日)に2名参加。

ホームホスピス協会総会(11月22日)にオンライン参加。参加者と意見交換を行った。

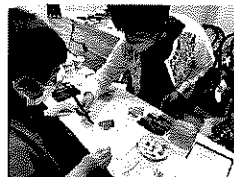
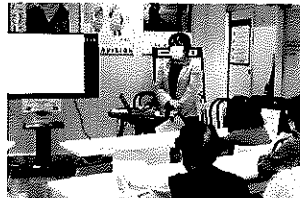
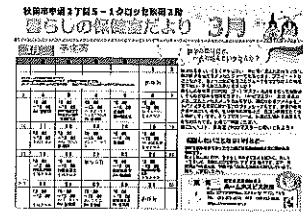


7 あなたのかかりつけ保健師事業

ホームページ、電話での問い合わせはあったが、契約までにはならず、訪問看護ステーションの利用となったケースがあった。

8 CCRC内暮らしの保健室の運営

- ・ 秋田不動産サービスより委託を受け、講座やイベント、健康相談にあたる。
- ・ 現在、専門職11名、ボランティア7名で運営にあたる。誰でも予約なしで、医療や介護、健康に関する相談ができる。延べ利用者数629名(内相談189件)
- ・ 毎月「保健室だより」を発行。健康や介護に役立つ情報と保健室の予定や講座、イベント情報を発信。講座やイベントは感染状況を見ながら人数を調整し実施。ボランティアスタッフの特技を活かした講座や保健師、看護師、言語聴覚士、歯科衛生士などの専門職スタッフによる講座を開催。
- ・ 秋田県ピア・サポート活動支援事業の助成を受け「がんサロン」を毎月1回定期開催。
- ・ あきたスギッチファンドがん対策支援ファンドに応募し、採択され、「がんサロン特別版」としてクロッセ秋田内のカフェの協力のもとランチをとりながらの交流会や医師や専門看護師によるミニ講座を実施。
- ・ 図書の貸し出し(ちよっこことライブラリー)を行う。
- ・ 「生理の貧困問題」への取り組みとして、未開封の生理用品回収BOXを保健室内に設置し、回収した生理用品はNPO法人秋田たすけあい
- ・ ネットあゆむが運営する親子食堂やまちかど保健室で配布していただいた。



9 助成金、補助金の活用

